

共育セミナー

環境適応 ～重症例への介入を中心に～

講師： 医療法人辰星会 枳病院

渡部 昭博



臨床現場では、介入に難渋する事例に多く出会います。むしろ一筋縄ではない方が多いのかもしれませんが。思い描いた通りにリハが進まないどころか、うまく対象者と付き合うこともできずに悩むことも多々あるかと思えます。その反面、我々療法士が、ご家族や多職種から要求されることや、期待されることは非常に多く、葛藤の中で臨床を行っている方が殆どではないでしょうか。難しいことではありますが、私は常々、いかに自然に対象者を作業療法に導入できるかを考えています。対象者が余計な重圧や、課題から解放され、フラットな感情で必然性のあるリハビリに臨む。あたりまえの日常をあたりまえのように送る。それが理想です。

「人間の行動は、個人 環境 課題 の相互作用によって成り立つ」

これは環境適応講習会の基盤となる考え方です。

今回の講演では、介入に難渋する事例に対して、素直にこの相互関係を考えてみようと思えます。始めに言っておきますが、簡単ではないですし、明確に技術化、理論化できないこともあります。そういう側面も含めて、素直に、ありのままに余計な解釈なしで捉えてみるのも面白いのではないのでしょうか。